

【情報公開文書】

2020年9月16日作成

Ver.3.0

研究課題名	胃癌症例における術前評価と手術療法の治療成績の検討
所属（診療科等）	長崎大学病院 腫瘍外科
研究責任者	荒井 淳一（助教）
研究機関	この研究は長崎大学病院 腫瘍外科のみで実施します。
研究期間	2020年10月20日～2025年12月31日
研究目的と意義	術前後の進行度診断の相違が起こるリスク因子を明らかにすることにより、患者に適切な手術を提供することができます。更に診断の相違が予後に与える影響を明らかにし、予後に影響しなければ、現在推奨されているリンパ節郭清度を縮小でき、影響があるのであれば、深達度やリンパ節転移、遠隔転移の術前診断法を再考します。腹腔鏡手術と開腹手術の比較により、進行癌に対しても低侵襲手術である腹腔鏡手術の適応を進めていくことができます。非治癒切除症例の比較より原発巣切除が予後に与える影響もあきらかにし、原発巣切除を行うべきかどうか、明らかにします。
研究内容	<p>●対象となる患者さん 2000年1月1日～2020年8月31日の間に長崎大学病院で胃癌の診断で手術を受けられた患者さんが対象となります。</p> <p>●利用する情報。 診断名、年齢、性別、併存疾患、既往歴、検査結果（血液検査、画像検査、病理結果）、手術関連情報、化学療法関連情報、進行度など 詳しい情報をお知りになりたい方は下記の問い合わせ先へご連絡ください</p> <p>●研究の概要・方法 対象となっている症例の情報を診療録(カルテ)から収集し、手術療法の治療成績を明らかにします。</p>
問い合わせ先	<p>【研究担当者】 氏名：荒井 淳一（医師） 長崎大学病院 腫瘍外科 住所：長崎市坂本1丁目7番1号 電話：095（819）7304 FAX 095（819）7306</p> <p>【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616 受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）</p>